

65. アーチェリー章

考查課題	考查方法 合格年月日	認印
(1) アーチェリーの安全ルール及びエチケットについて説明できること。	□/記	
(2) 弓と矢について各部の名称、規格（を述べる。その他の用具についても名称をあげ、使用法を実演できること。*	実	
(3) 次のことができること。 ア アーチェリー用具の手入れと保管 イ 弓に弦を張り、弦にノッキングポイントを作る。 ウ 自分の弓に合う矢を6本作る。 エ 各種の矢について、その名称、用途、形状、材質などについて説明する。 オ 各種の弓について、その名称、用途、特徴を説明する。 カ 次の用語を説明する。* キ スパインについて説明でき、自分の体格と弓に適合した矢を選ぶことができる。	実/作/□	
(4) 基本的な射の各段階（射法8節）について説明し、実演する。主なエイミングの方法、及びアンカーの位置についても説明できること。*	□/記→実	
(5) アーチェリーの楽しみ方及び競技種目2種以上のルールについて説明できること。*	□/記	
(6) 自分の目指す種目において、標準以上の成績をとること。*	実・証	

* 印については、スペース上省略しているため、条文を確認すること。

考查課題の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考查員 印

66. オリエンテーリング章

考查課題	考查方法 合格年月日	認印
(1) オリエンテーリングの意義を説明し、その歴史について述べる。また、ポイントオリエンテーリングとスコアオリエンテーリングの違いを説明できること。	□/記	
(2) 次のことができること。 ア 基本的な読図力を有すること。 イ 磁針の偏差の意味を説明する。 ウ 自分が住んでいる地域の地形図に磁北線を引く。 エ シルバコンパスにより、バックベアリング、クロスベアリングができる。	□/記・実	
(3) コースの設定に必要な条件及び注意事項について説明すること。	□/記	
(4) 都道府県オリエンテーリング協会・委員会などが主催するオリエンテーリング大会*3つに参加し、コースを記入した使用地図のコピーに自分のとったコース（赤線）で、各コントロール間の所要時間を記入した資料を添えて、レポートを提出すること。	証・録	
(5) 少なくとも5つのコントロールを有する2km以上の「ポイントオリエンテーリング」のコース、または制限時間を60分とする「スコアオリエンテーリング」のコースを考えた地図に記入し、「ポイント位置説明表」をそえて提出すること。	計・作	
(6) オリエンテーリングの基本的な技術を班や隊で指導できること。	実	
(7) オリエンテーリングで守るべきエチケットを説明できること。	□/記	

考查課題の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考查員 印

67. カヌー章

考查課題	考查方法 合格年月日	認印
(1) 水泳章を有すること。	証	
(2) カヌーの歴史及び競技カヌーの種類について説明すること。	□/記	
(3) カヌーの標準装備（カヤック1人乗り・カナディアン1人乗り）及び付属品について名称をあげてその正しい用い方を説明すること。	□/記	
(4) 静水においてK1（カヤック1人乗り）またはC1（カナディアン1人乗り）を用いて次のことができること。 ア カヌーの正しい選び方。 イ 棧橋（船台）を利用して艇に乗り降りする。 ウ 45度傾いた艇においてバランスをとり復元する。 エ 正しいパドルングで50m直進し、停止する。 オ 基本パドルングのうち、基本漕ぎ、逆漕ぎ、引き漕ぎ操作ができる。 カ 転覆した艇から脱出し、艇をおこし、パドルを入れ棧橋（船台）、プールサイドに艇を移動して水を出す。	実	
(5) カヌーの取り扱い、手入れ及び修理について説明すること。	□/記	
(6) 練習上の注意事項及び安全について説明できること。	□/記	
(7) 次のことを説明すること。 ア カヌーイストとしてのマナーと心がけ。 イ レーシングカヌーとスラローム、ワイルドウォーターの違い。*	□/記	

* 水辺・水中・水上の活動については、安全器具（ライフジャケット等）が正しく取り扱えること。

考查課題の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考查員 印

68. 自転車章

考查課題	考查方法 合格年月日	認印
(1) 自転車の構造と、各部の名称を知り、次のことができること。 ア マウンテンバイク、ミニサイクル、折りたたみ自転車等の特徴の説明 イ バック、ペダル、ブレーキ、ハンドル、サドルの修理及び調整 ウ 乗車時の点検、空気圧のチェック、掃除及び注油等の実施	□・実	
(2) 道路上を走行するときに守らなければならない交通法規及び安全上の注意点を知らなければならないこと。	□/記	
(3) 示された地図により4kmを走り、与えられた課題の観察（ランニング・キム）と口授された簡単なメッセージを伝達すること。	実・報	
(4) 1泊2日以上、往復最低100km以上にわたるサイクリング計画書、及び実施報告書を提出すること。（このコースの中に平地30kmの2時間での走破記録を含むこと）	計・録・報	

考查課題の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考查員 印